



躍動感あふれる歌やダンスを披露する生徒

旧中山高に活気再び

伊予市河原学園2校文化祭

学校法人河原学園(松山市)が運営する未来高校と河原高等専修学校の文化祭がこのほど、伊予市中山町出

淵の旧中山高施設を活用した同学園の中山キャンパスで初めて開かれた。訪れた住民は、ダンスや作品展示で活気を取り戻した「地元の高校」の姿を見て喜んだ。

中山高は2013年3月に閉校。河原学園が18年から施設を中山キャンパスとして授業や行事に利用してい

が、新型コロナウイルスの影響で中止となっていた。

文化祭は11月26日にあり、生徒約200人が参加。校舎に写真や書などを展示したほか、体育館のステージでダンスや和太鼓演奏など多彩な演目を披露

した。系列校の河原パティシエ・医療・観光専門学校(学生もミュージカルを上演して盛り上げ、最後は全員で旧中山町歌「風織る町」を合唱した。

住民は目を細めてステージを見守り、歌に

【紙面編集】本橋隆太

合わせて拍手。旧中山高で同級生だった80代の女性2人は「閉校したときは寂しかった。若い子たちがたくさん来て、にぎやかになってうれしい」と笑顔を見せていた。

実行委員長の未来高3年篠原拓也さんは「スムーズに運営でき達成感がある。住民に若い世代の輝きを見てもらい、新しい学校の姿を再発見してほしい」と力強く話した。

(杉本賢司)